

経営比較分析表（平成29年度決算）

愛媛県 西条市

| 業務名 | 業種名 | 事業名 | 類似団体区分 | 管理者の情報 |
|-----------|-------------|--------|--------------------------------|--------|
| 法非適用 | 水道事業 | 簡易水道事業 | D3 | 非設置 |
| 資金不足比率(%) | 自己資本構成比率(%) | 普及率(%) | 1か月20m ³ 当たり家庭料金(円) | |
| - | 該当数値なし | 4.88 | 2,840 | |

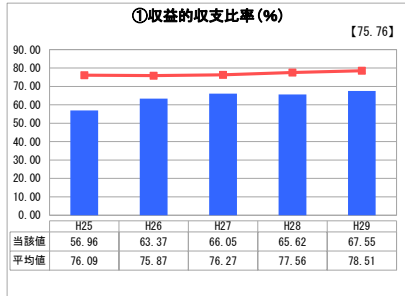
| 人口(人) | 面積(km ²) | 人口密度(人/km ²) |
|-----------|--------------------------|----------------------------|
| 110,767 | 509.98 | 217.20 |
| 現在給水人口(人) | 給水区域面積(km ²) | 給水人口密度(人/km ²) |
| 3,475 | 11.99 | 289.82 |

グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)

【】 平成29年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



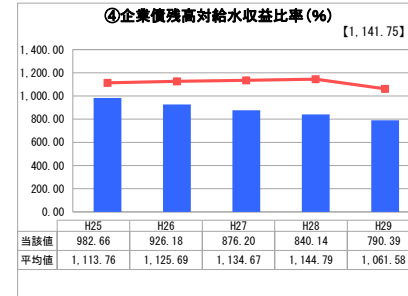
「単年度の収支」



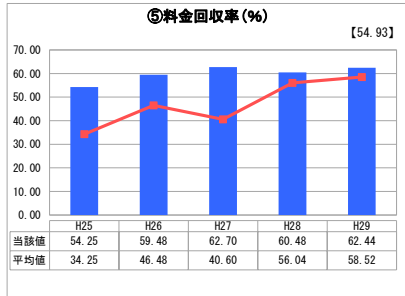
「累積欠損」



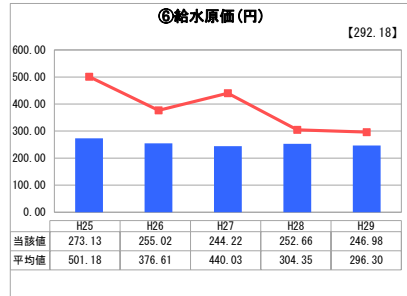
「支払能力」



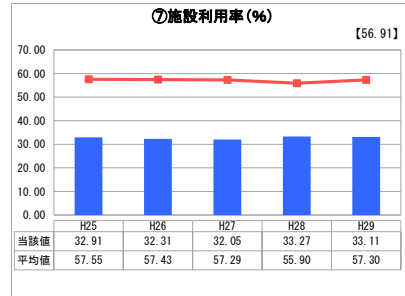
「債務残高」



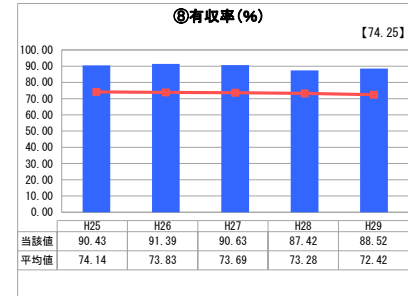
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」



「施設の効率性」

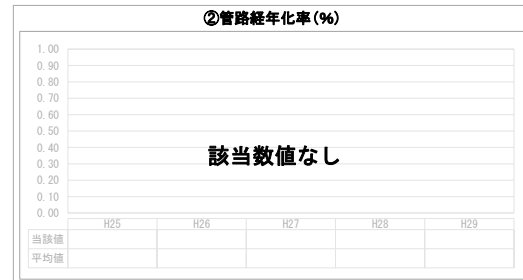


「供給した配水量の効率性」

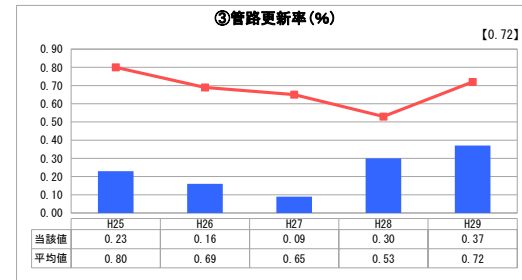
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管路の経年化の状況」



「管路の更新投資の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

簡易水道事業は上水道事業と比較すれば規模が小さく、料金収入のみでは経営をすることが困難であり、収支の不足分に關しては一般会計からの繰入により補填している状況である。

①収益的収支比率は100%を大きく下回っており、必要な収益を確保できておらず、類似団体と比較しても低い水準にある。

⑥給水原価については、低く抑えられており、その結果⑤料金回収率については類似団体と比較すれば良好である。しかし、100%を大きく下回っており、給水に係る費用を料金から回収できていない。

⑧有収率については、類似団体と比較すれば、高い水準を保てており、老朽化が進んでいるところから適宜更新をおこなっている状況である。

④企業債残高対給水収益比率については、近年は大規模な更新を行っておらず、企業債残高は減少傾向にあるため、改善傾向であるが、企業債に依存した経営状況である。

⑦施設利用率については、類似団体と比較して低い水準にあり、今後も給水人口の減少による低下が予想される。そのため、施設の更新の際には、ダウンサイジングや上水道施設との統合も視野にいれた更新計画が必要である。

2. 老朽化の状況について

⑧有収率が類似団体と比較すれば、高い水準に保てていることもあり、③管路更新率は、類似団体と比較して低い水準にある。

現在は、限られた財源の中で、優先順位の高いものから適宜更新をおこなっている状況である。

全体総括

簡易水道事業は上水道事業と同じ料金水準ではあるが、経営効率が悪く、料金収入のみで経営の健全性を確保することは困難である。

そのため、企業債や一般会計からの繰入に大きく依存しており、改善が必要な状況である。特に、一般会計からの繰入については、水道利用者以外からも負担を強いることになり、負担の公平性という観点から望ましい状況ではない。

また人口が減少し、施設利用率も減少していくことが予想される中では、簡易水道単独で経営を維持することは困難であるため、上水道事業との経営統合を計画しているところである。

※ 平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、管路更新率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。